

## 全職員を認知症サポーターに

～市長、副市長も率先して受講～

河内長野市は、全職員（643人）を認知症サポーターとして養成する取り組みを始めた。平成19年度から、職員対象の認知症サポーター養成講座を開催しているが、受講率が約50%にとどまる状況であった。

平成29年度からは、新たに新規採用職員研修や消防職員向けの出張講座の取り組みを進めるとともに、市長、副市長が率先垂範して受講することで、早期に受講率100%を目指す。

認知症サポーター養成の最終的な目標は、小学生以上の全市民が受講すること。そして、認知症などの要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるという支え合いのまちを実現することである。

なお、市長、副市長が受講するサポーター養成講座は5月25日（木）午前9時30分～市役所にて開催。取材可。

### ※参考

○認知症サポーターとは 「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する人。

### ○本市高齢化率等

本市の高齢化率は約32%で府内で最高。認知症高齢者の数は5,000人と推計され、高齢者人口のおよそ1割を占める。



問い合わせ 河内長野市いきいき高齢・福祉課

☎0721-53-1111

